

一筆啓上

# 作左通信



第一〇二号 令和二年五月二五日（金）発行

## 総会・講演会・視察旅行の中止

今年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大により、やむなく総会・講演会・視察旅行を中止することとしました。

市橋先生の講演会や視察旅行を楽しみにしていた方も多かったと思いますが残念です。また、緊急事態宣言が発せられてからは、公共施設の全面使用禁止、人の動きの制約等で、ほとんどの地域行事がストップしています。この先の見通しも不透明ですが、状況を鑑みながら、できるこ

から順次進めてまいりたいと思います。

世界中を震撼させている新型コロナウイルス。自分にとって初めての経験であり、だから感染するかわからない、透明人間におびえているような恐ろしい感覚になります。皆さんは如何でしょうか。

## 人類と感染症の歴史

私自身としては、今回を契機として人類と感染症の壮絶な戦いの歴史を知ることができました。

一三四七年〜一三五一年、ヨ

ロッパ人口の三割以上の死者を発生させたペスト、南米インカ帝国が滅びたのも天然痘によるものとも言われております。

そのほか、コレラ、スペイン風邪、アジア風邪、香港風邪、エイズなど、多くの感染症との戦いがありました。

中でも、世界的な影響を及ぼした百年前、第一次世界大戦当時の「スペイン風邪」は、世界で五億人が感染したと言われており、大戦の死者が一五〇〇万人に対し、四〇〇〇万人以上の人が死亡したと言われています。（日本での死者は四五万人。）

これまで、人類が英知を振り絞り、これらとの戦いに勝ちぬいてきたからこそ今日があるの

です。

いま、地球温暖化等地球環境がむしばまれて行くなか、いつ新たなウイルスが発生するかわかりません。まだまだ感染症との戦いは続いてゆくのでしょうか。これからも新薬やワクチンの開発等、人類が協力し合ってこれに立ち向かって欲しいものです。

わが国も世界に立ち遅れない対応が望まれます。

今後も、第一波、第三波が来るとも予想されています。私たちも、自分を守るために何をすべきか、常に危機管理を心がけたいものです。

